

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【1. 施策名】

施策コード	312-01	基本施策	消防・救急・救助体制の充実	所管部局	消防局
施策名	消防体制の充実			主担当課	消防局総務課
				関係部局課	消防局警防課
施策の目標	地域・事業所・関係機関などの防災組織と連携し、防火意識の高揚を図るとともに、消防施設・消防装備などの充実により、効果的な消防体制を築きます。				

【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

社会構造の変化により、複雑・多様化する火災等の災害に対し、市民の安全・安心の負託に応えるため、市民・地域・消防団と連携し、火災等の未然防止、被害の軽減につながるよう、一層の防火・防災意識の高揚を推進する。
また、施設整備として、消防施設・消防装備の充実強化、耐震性貯水槽の整備、更に、研修を通じ、高度な技術・専門的知識を有する職員を育成するとともに、消防団活動の活性化を推進する。

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
出火率	件	3.6	3.3	4.9	/	/	/	3.0
指標の定義		目標値のねらい（設定根拠・算定方法）						
人口1万人当たりの出火件数		火災件数の抑制を目指す。						
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
市民による初期消火率	%	66	72	67	/	/	/	70
指標の定義		目標値のねらい（設定根拠・算定方法）						
火災発生時における地域住民による初期消火の実施率		地域住民の防災意識の高揚、被害の軽減を目指す。						
25年度の取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両及び消防活動資機材の更新、消防団装備の更新等を行った。 耐震性貯水槽を6基整備した。 消防救急無線デジタル化整備工事に着手した。 春、秋の火災予防運動他、出火防止運動等を積極的に行った。 							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	概ね順調
評価の理由・説明等	
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	消防施設整備、装備整備等に関しては、優先度を踏まえながら形ある事業を計画的に展開した。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	施設整備のみならず、火災件数の抑制、被害の軽減は、地域住民の意識の高揚が重要であることから、積極的な火災予防運動のほか、防火・防災意識の高揚を更に目指す。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	火災件数は、春先の気象状況等により大幅な増加となり、類似火災の防止対策等、市民への広報活動に課題が残り、更なる取組が必要である。そのほかの事業については、ほぼ目標どおりに推進している。

【5. 今後の展開】

課 題		課題解決に向けた具体的な取組
1	中心市街地の消防、救急、救助体制の強化	中心市街地を管轄する中央消防署庁舎を県勤労者福祉センター跡地へ移転新築と併せ、消防体制の再編成を行う。
2	市民からの119番通報を受信し、消防活動の中核機能である高機能消防指令情報システム整備と併せ、須坂市との指令業務の共同運用について	消防指令業務を須坂市と共同で行うことにより、災害時における円滑な消防・救急・救助活動など、住民サービスの向上や、経費の削減が図られるなど、検討していく。
施策展開の方向性 (H26年度以降)		中心市街地を管轄する中央消防署庁舎を県勤労者福祉センター跡地へ移転新築し、中心市街地の消防体制を再編成し、強化を図る。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
1	火事をなくする市民運動 [サービス提供事業] 消防局予防課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		火災予防啓発活動を実施し、市民の防火意識の高揚と火災予防の推進を図る					出火率は、3月から5月にかけて乾燥する日が多かったため、年間の火災件数の半数の火災が発生したことから、増加した。 市民による初期消火率は、屋外で発生した枯草火災等の初期消火が減少した。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	C	A	A	B	B	拡充	1,991	1,982	2,063	2,325	
2	消防職員研修 [内部管理的事業・その他] 消防局総務課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		消防大学校等の研修派遣、免許取得講習及び技能講習の受講、また、受講職員による伝達を含めた局内研修・所属研修の実施					平成23年度は、東日本大震災の影響で消防大学校の一部教育課程が中止となったほか、救急救命士の病院実習が未実施となったが、これを除き、毎年度ほぼ予定どおり研修に派遣し、人材育成に努めた。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	A	B	継続	32,025	32,008	21,856	22,528	
3	消防車両整備 [サービス提供事業] 消防局警防課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		消防車両の計画的な更新・整備を通して、消防、救急及び救助体制の充実強化及び近代化を図りながら、市民の生命、身体及び財産を守る。					車両更新計画に基づき車両の整備等を行っているが、更新を直前に控えた車両に故障等の不具合が数多く発生している。				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	継続	55,429	181,329	156,344	190,833	
4	無線通信機器整備 [サービス提供事業] 消防局通信指令課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		無線通信機器の機能を維持・強化し、その機能を十分活用した迅速・確実な災害対応により、被害を最小限に抑える					消防救急無線デジタル化に向け計画どおり事業推進している。 平成26年度に署活系無線機を整備する				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	継続	87,545	85,988	255,269	2,409,709	

